

清八 江戸 森春甫 堀部因琢 拾五人

六段 林門悅 初段 江戸 一心齋 同 片岡主膳正八人略

文化二乙丑年改

〔因云恭話〕本因坊道悅碁の問答

或人本因坊道悅と閑話の序に、碁の上手名人と云ふには、如何やうにしてなるものに侍るやと問ひけるに、道悦答へに、上手名人といふ地位にいたるものは、其の人の生得の器用に侍る、大抵十人並の器用の者能く教へ、其の身も此の藝にはまりて能く勤め、數年を経れば上手にふたつまでの碁には、修行にてなるものに侍る、何ほどをしえ、その身もつとめても、上手名人といふには、其の器量の生得ならではなるものにてはなし、さるによりてこの藝をたしむもの多くあれども、上手名人といふは、むかしよりわづかなりといへり、

〔倭名類聚抄〕碁局 唐韻云、枰、皮命反、按、簿局也、陸詞云、局、渠玉反、碁局、基板枰也、

〔箋注倭名類聚抄〕按說文、枰、平也、謂凡木器之平稱枰、釋名、釋牀帳之枰、碁局之枰、皆其一端、

○中 按說文、局、博所以行碁、蓋枰局並本六簿盤、後借爲圍碁盤之名也、急就篇、碁局博戲相易輕、注、

碁局謂彈碁圍碁之局也、

〔增補下學集〕碁盤

〔和爾雅〕碁具、碁盤、枰、碁局、路、今按、此、對、碁盤、線、間、方、目、

〔名物六帖〕碁局、紙、杜、詩、老、妻、畫、碁、枰、正、字、通、枰、宜、碁、木、枰、類、書、楸、枰、同、上、皆、棋、盤、楸、

局、上、碁、盤、明、紀、全、載、碁、石、碁、盤、花、葉、介、老、詩、碧、桃、木、野、狐、拊、掌、錄、人、目、棋、枰、爲、木、野、畫、路、對、李、靖、問、

曰、教、士、猶、布、棋、於、盤、線、道、謂、宋、朝、疑、碁、經、序、局、之、線、道、若、無、畫、路、碁、安、用、之、線、道、謂、之、枰、線、道、之、間、謂、之、罪、

〔和漢三才圖會〕碁略 中 碁局 枰音平 ○